

新羽高校の校長が受検生のために作った新聞

# 羽ばたきの丘通信

令和6年5月13日 第3号

編集・発行 新羽(にっば)高校校長 勝股 正

令和6年度第1号記念企画

## 「校長が乗ってみた2024」

今年も出します「羽ばたきの丘通信」

この新聞を初めて目にされる方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に紹介をいたします。

このwebマガジンは、横浜市港北区にある、神奈川県立新羽(にっば)高校の校長が、中

学生やその保護者の方に新羽高校のことを理解していただくために、校長自ら編集・発行しているものです。

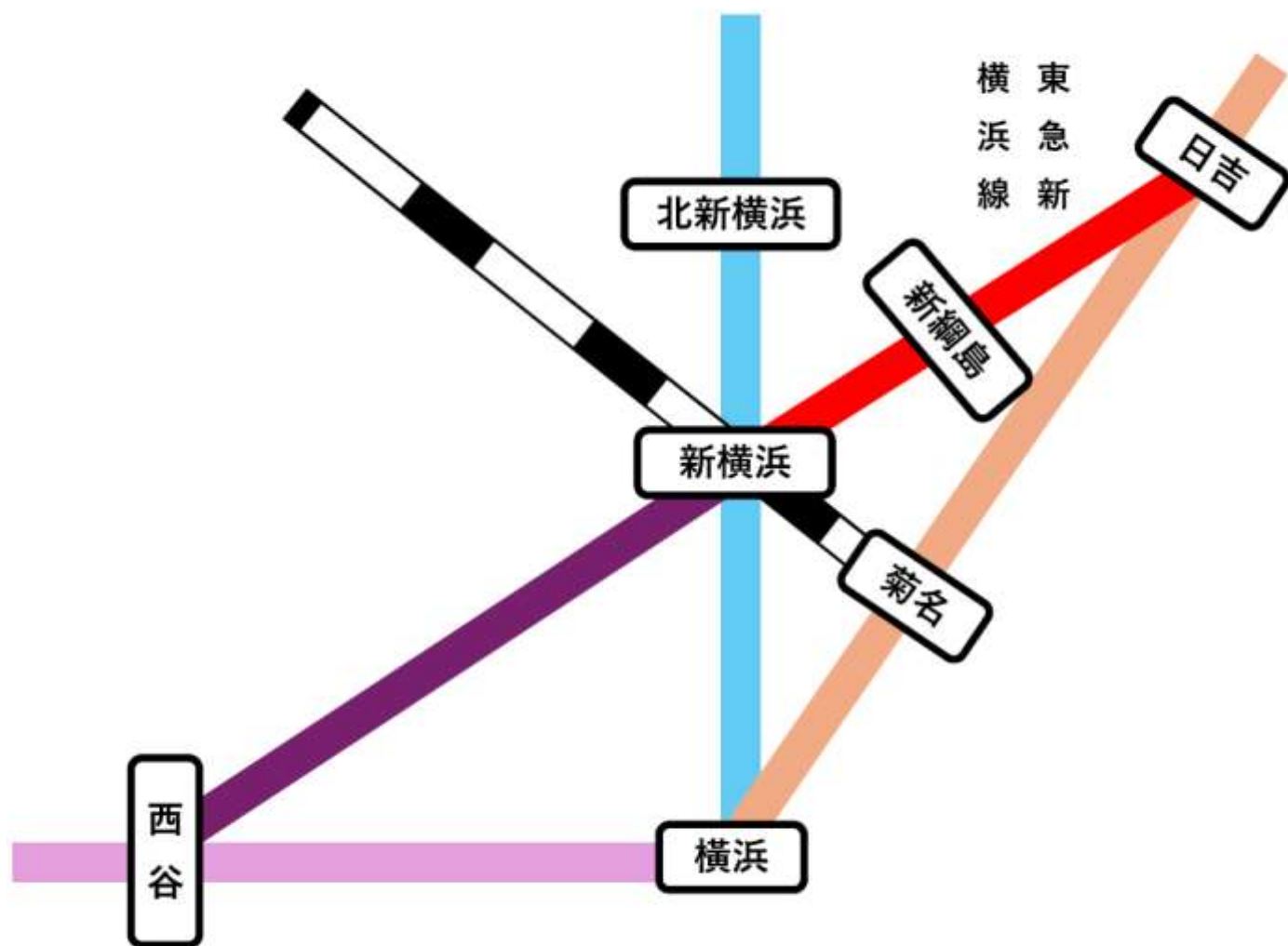
昨年度から発行を始めましたが、昨年は、結局2号しか出せませんでしたので、令和6年度初めて発行するこの号が、通算第3号にあたります。

校長が、生徒の通学路線に乗ってみる  
鉄板企画

新羽高校は、横浜市営地下鉄ブルーライン北新横浜駅から歩いて約13分という、通学に非常に便利な学校ですが、校長みずからそれを検証しようと、新羽生の通学ルートを実際に

たどってみるという企画が、「校長が乗って  
みた」です。

去年は、「相鉄新横浜線」に乗って見たので  
すが、今年は、「東急新横浜線」に乗ってみ  
たいと思います。



相鉄・東急新横浜線は、神奈川県央部や横浜

市西部と東京都心部を直結する目的で、令和5年3月に開業しました。

私は、開業直後からこの路線に注目し、各高校への通学のしやすさが変化して、県立高校の受検地図が塗り替えられるかもしれないと予想しました。

しかし令和6年度入選の結果としては、新羽高校でいうと、入学者の地域分布に、大きな変化は見られませんでした。

私の予想はずれてしまいましたが、路線開通で便利になる地域に対しての私たちの学校広報が、力不足だったのかもしれませんが。

しかし、新線開通で、新横浜駅の隣の「北新横浜駅」から歩ける新羽高校へは通いやすくなったことは間違いないと思います。

## ｜ 東急武蔵小杉駅からスタート

4月26日、朝7時30分過ぎ。私は、武蔵小杉駅にいました。

武蔵小杉駅は、周辺で高層マンションが建設され、駅前再開発が進み、乗降客も大変増えているようです。

しかし、私が立った東急線下りのホームは、上りに比べて混雑はそれほどでもありませんでした。



武蔵小杉駅に到着する下り列車は、日吉駅で「横浜方面（東横線）」と「新横浜方面（東急新横浜線）」の2路線に行先が分かりますので（東急線HPより）、乗り間違えないようにしなければいけません。



7:54 発の大和行き（写真でいうと、左側2番線の“YAMATO”と表示されている列車）に乗ります。



## 日吉駅から地下を進む新横浜線

日吉駅から東横線と分かれ、新横浜線となり、列車は地下を進みます。

途中、新綱島駅を通過しますが、この駅は、  
従来からあった、東横線の綱島駅とは少し離  
れた場所にあります。

したがって、綱島付近から電車に乗る人は、  
綱島駅ではなく、新綱島駅から乗らねばなら  
ないこととなります。

8：06 に新横浜駅に到着しました。

東急・相鉄新横浜線は最近の路線ですから、  
ホームは、新横浜駅の最深部にあります。

そこから、上に上がって、横浜市営地下鉄ブ  
ルーラインに乗り換えます。





新横浜駅は、JR 横浜線や新幹線も乗り入れていますから、初めてだと戸惑うかもしれませんが、案内表示が親切なので、迷うことはないと思います。

## 新横浜駅の隣、北新横浜駅で下車

新横浜駅からは、一駅、たった1分で、北新横浜駅に到着です。

そこから、徒歩約13分で、新羽高校に到着します。



校門をくぐる前に、撮った写真がこれです。

小さく写っているので分かりにくいのですが、校舎の時計は、8時25分あたりを指しています。

武蔵小杉駅から約30分で新羽高校に到着してしまいました。

新羽高校の登校時間は、8時50分ですから、余裕をもって始業に臨むことができるはずです。

これまで東横線を使う場合は、菊名駅で横浜線に乗り換え、新横浜駅で、地下鉄ブルーラインに乗り換えていました。

単純には比較できないかもしれませんが、同じ時間に武蔵小杉駅を出たとして、10分以上短縮できたと同時に、乗り換え回数を減らすことができました。

ところで、普通ですと、この時間は、登校する生徒がたくさんいるはずですが、この日は、遠足だったので、生徒が一人も写っていません。

## 高校選択の幅を拓けましょう

私が、毎年、生徒の通学コースを実地にたどっているのは、新羽高校校長として、単に自校の宣伝のためだけではありません。

受検生の皆さんには、多くの高校の魅力や特色、強みを比較・検討して、一番自分にあった学校を選んでもらいたいと思っています。そのために、できるだけ情報を提供して、皆さんが通学できる範囲にどんな学校があるのかを意識していただきたいと思います。

そして、そのうえで、新羽高校の魅力と特色を多くの方に知ってもらいたい、本校を志願してもらえたらと思います。

そのために、今後も、この通信を発行していきますので、引き続き、読んでいただけたら幸いです。

また、[「新羽高校【公式】」X（エックス）](#)でも積極的に情報発信しています。是非フォローをお願いします。

## 編集後記

羽ばたきの丘通信第3号を最後まで読んでいただいていたありがとうございました。令和6年度の新羽高校の[学校広報年間スケジュール](#)を公式ホームページに公開しました。ご覧になってください。

次号もよろしくをお願いします。